

インタビュー

キューアンドエー
代表取締役社長

かわだ てつお
川田 哲男さん(63)



中小企業のDX推進後押し

デジタルトランスフォーメーション(DX)は、企業の生産性向上に欠かせない。しかし、中小企業には時間

的制約、人材不足などがあり導入のハードルが高い。IT関連サポート業のキューアンドエー(東京)が、DXによって顧客の事業

成長を支援するサービス「DIGINEXT」の提供を始めるという企業理念が社員に根付いている。これまでは待ちの面が強かったが、今後は提案型にも力を入れた」と話す。

三つ。顧客の相談に乗り、解決策を提案する「BPO」、経営課題を明らかにする「DXコンサルティング」、

経験豊富な人材がBtoB(企業間取引)を支援する「営業DX」だ。

DXの利点はペーパーレスや自動化を実現させ、従業員が本来取り組むべき業務に力を注げること。今後、営業スタイルも変化する。体力の乏しい中小企業ほど、

創立25年余りの同社の強みは、宮城県内にもあるコールセンターを通して積み重ねた技術支援の知見と、顧客の困り事に寄り添う心にある。「感動共有企業」として、お客さまの事前期待

に対応を急がなければならぬ。お客さまの課題を一緒に考え、最適な答えを見つけて出す「伴走型」の姿勢でDX推進を後押ししたい」と意気込む。



DIGINEXTのサイト

後押ししたい」と意気込む。